

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【公表番号】特表2000-501896(P2000-501896A)

【公表日】平成12年2月15日(2000.2.15)

【出願番号】特願平9-505568

【国際特許分類第7版】

H 0 4 R 27/00

G 1 0 K 11/34

H 0 4 R 1/40

【F I】

H 0 4 R 27/00 B

G 1 0 K 11/34

H 0 4 R 1/40 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月11日(2003.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書（自発）

平成15年7月11日 

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

PCT/FR96/01083

平成9年特許願第505568号

2. 補正をする者

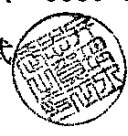
ソシエテ プール レ アプリカシオン デュ ルトゥールヌマン
タンボレル

3. 代理人

住 所 東京都新宿区高田馬場3丁目23番3号 ORビル

電話 東京 5330-6011(代表)

氏 名 弁理士(6490)

志賀 正武 

4. 補正対象書類名

(1) 明細書

5. 補正対象項目名

(1) 特許請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を別紙の通り補正する。

以上



方 式 審 査



特許請求の範囲

1. 音響エネルギーを、少なくとも一つの位置にフォーカスしかつ時間的に圧縮する方法であって、

a) 第一の持続時間での短い音響パルスを前記位置(12)から放射する段階と、

b) 多重散乱媒体(10; 30)を介して前記位置から放射された前記音響信号を、前記第一の持続時間よりも少なくとも一桁大きい第二の持続時間のために、複数の変換器(14)のネットワークに集められて記録する段階と、

c) 前記第二の持続時間の間に集められた信号の時間的反転及び増幅によって得られた復帰信号を前記多重散乱媒体に向けて前記変換器(14)より放射する段階と、

を備えて成る音響エネルギーのフォーカス方法。

2. 請求項1記載の方法において、前記多重散乱媒体(10; 30)には、前記位置1(12)から見た際に前記ネットワーク(14)の角開口よりも大きい角開口が設けられていることを特徴とする方法。

3. 請求項1又は2に記載の方法において、

前記段階(a)において、前記ネットワーク(14)に属しない変換器(24)より照射ビームが放射され、

前記位置が、反射目標(12)による前記照射ビームの反射により規定されることを特徴とする方法。

4. 音響エネルギーを一つの位置にフォーカスしかつ時間的に圧縮するための装置であって：

— 前記位置(12)から短い音響パルスを放射させる手段(18; 24)と；

- ー 複数の変換器（14）より構成したネットワークと；
 - ー 前記変換器から成るネットワークと前記位置との間に設けられ、かつ、該音響パルスの持続時間が、前記変換器から成るネットワークのレベルにおいて少なくとも一桁大きくなるよう増加させるべく前記各音響パルスを時間的に展開する多重散乱媒体（10；30）であって、前記変換器から成るネットワークが、前記パルスの前記放射に応じてピックアップされた音響信号の時間的反転及び増幅によって得られた音響信号を放射するように制御される、多重散乱媒体（10；30）と；
- を備えて成る装置。

5. 請求項4記載の装置において、前記多重散乱媒体（10）の厚さが実質的に、該媒体の平均自由経路よりも大きいことを特徴とする装置。